

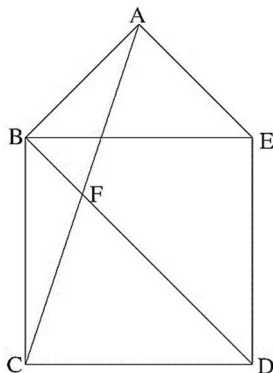
芸術的な高校入試第 21 回

出典：2020 年度 都立 立川高校	
難易度：★★★★☆☆	美しさ：★★★★☆☆
総試験時間：50 分	配点：25 点/100 点

四角形 BCDE は、1 辺が 2 cm の正方形、 $\triangle ABE$ は、 $AB=AE=\sqrt{2}$ cm の直角二等辺三角形である。次の各問に答えよ。

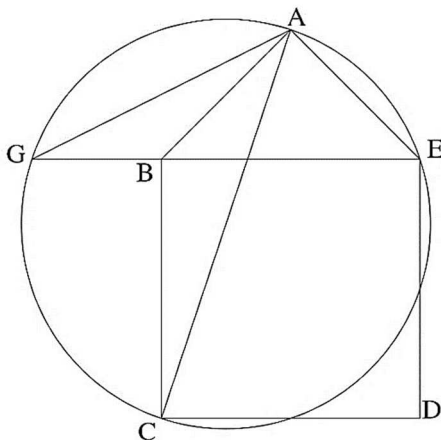
問1 線分 AC と線分 BD との交点を F とする。

線分 BF の長さは何 cm か。

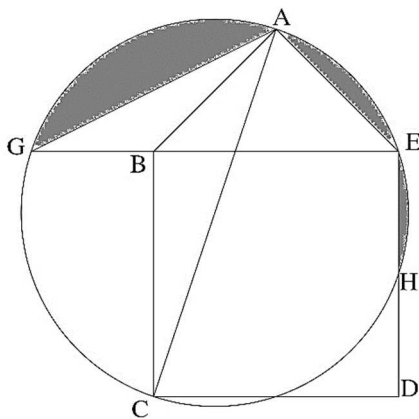


問2 3 点 A, C, E を通る円をかき、線分 BE を B の方向に延ばした直線と円との交点を G とする。

(1) $\triangle ABC \sim \triangle GBA$ を証明せよ。

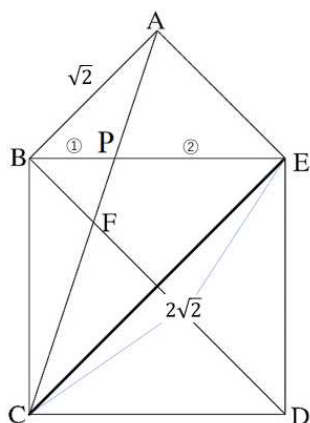


(2) 辺 ED と円の交点のうち、点 E と異なる点を H とする。円周と弦 AG, 円周と弦 AE, 円周と弦 EH でそれぞれ囲まれた部分の面積の和は何 cm^2 か。



【解答例】

問 1 (7 点)

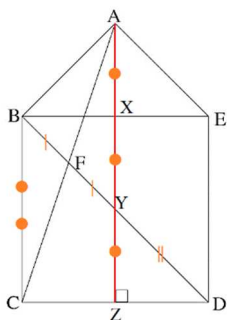
【解法 1】

AC と BE との交点を P とする。

$\triangle ABP \sim \triangle CEP$ で、 $AB : CE = 1 : 2$ だから、
 $BP : EP = 1 : 2$

$\triangle AEP \sim \triangle FBP$ で、 $AE : FB = 2 : 1$ となるの
 で、

$$BF = \frac{\sqrt{2}}{2} \text{ cm}$$

【解法 2】

点 A から CD に垂線を下ろし、BE、BD、CD との
 交点をそれぞれ X、Y、Z とすると、Y は正方形 BCDE
 の対角線の交点なので、 $AX = XY = YZ$ となる。

$\triangle BCF \equiv \triangle YAF$ (1 組の辺とその両端の角) となる
 から、 $BF = FY$ 、 $BY = YD$ なので、

$$BF = \frac{1}{4}BD = \frac{\sqrt{2}}{2} \text{ cm}$$

【解法 3】

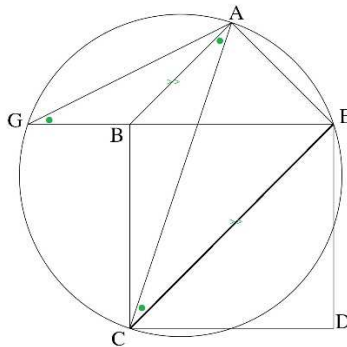
C (0, 0) とすると、D (2, 0) E (2, 2) B (0, 2) A (1, 3) と表される。

すると、F の座標は、

AC : $y = 3x$ BD : $y = -x + 2$ の交点だから、

$$F\left(\frac{1}{2}, \frac{3}{2}\right) \quad BF = \sqrt{\frac{1}{4} + \frac{1}{4}} = \frac{1}{\sqrt{2}} = \frac{\sqrt{2}}{2} \text{ cm}$$

問2 (11点)



$\triangle ABC$ と $\triangle GBA$ において,

$\triangle ABE$ は直角二等辺三角形だから, $\angle ABE = 45^\circ$

よって, $\angle ABC = 45^\circ + 90^\circ = 135^\circ$, $\angle GBA = 180^\circ - 45^\circ = 135^\circ$

であるから, $\angle ABC = \angle GBA \cdots \textcircled{1}$

また $\angle AEC = 45^\circ + 45^\circ = 90^\circ$ で,

$\angle BAE = \angle AEC = 90^\circ$ となるから, 同位角が等しくなるので, $BA \parallel CE$

よって平行線の錯角は等しいから, $\angle BAC = \angle ACE$

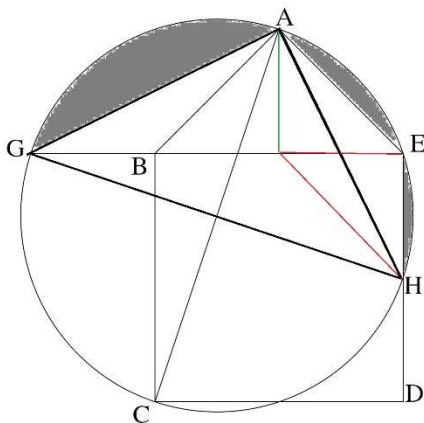
\widehat{AE} に対する円周角は等しいから, $\angle ACE = \angle BGA$

したがって, $\angle BAC = \angle BGA \cdots \textcircled{2}$

①, ②より2組の角がそれぞれ等しいから

$\triangle ABC \sim \triangle GBA$

問3 (7点)



$\angle AEC = \angle GEH = 90^\circ$ より, AC, GH は円の直径である。 $AC = GH = \sqrt{10}$ cm
 なので, 半円の面積は,

$$\frac{5}{4}\pi \text{ cm}^2 \dots \textcircled{1}$$

$\triangle GAH$ は直角二等辺三角形 (※) であるから, 面積は,

$$\frac{5}{2} \text{ cm}^2 \dots \textcircled{2}$$

A から GE に垂線を下ろし交点を I とすると, この AI と EH は平行なので,
 $\triangle EHA = \triangle EHI$ (等積変形), $\triangle AEI = \triangle EHI$ で,

$$\triangle AEI = \frac{1}{2} \text{ cm}^2 \text{ だから, } \triangle EHA = \frac{1}{2} \text{ cm}^2 \dots \textcircled{3}$$

したがって, 求める面積は, $\textcircled{1} - (\textcircled{2} + \textcircled{3})$

$$\left(\frac{5\pi}{4} - 3\right) \text{ cm}^2$$

(※) 四角形 AHCG の 4 つの角は全て 90° と分かり, また至る所に 45°
 が現れるので, 四角形 AHCE は正方形と分かる。

【コメント】

45° , 90° がたくさん現れる問題です。図はシンプルで、計算自体もシンプルですが、中々思考が難しい。

ちなみに高校数学を習った後なら、座標で全てワンパンできます。計算面倒だけど。問1は楽にできました。たぶん問3でも計算でゴリ押しできる。

実は円の中心はFになっています。

【作成】

高校入試 数学 良問・難問

<https://hokkaimath.jp/>